

授業科目

臨床栄養学I

担当教員名 永井 徹	対象学年	2	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

栄養素の代謝は、疾患の発症予防および治療において重要である。臨床栄養学Iは、臨床栄養学実習、臨床栄養管理演習に続く基礎科目と位置づけられるため、臨床医学と関連づけて理解する。

授業の目的

傷病者の病態や特徴に基づいた適切な栄養管理を行うために、疾患により栄養管理が異なることを理解し、栄養評価の方法、栄養管理計画の立案方法を修得する。

学習目標

1. 主要な臨床検査値について、栄養管理と関連して異常値を説明できる。
2. 疾病の予防および治療における臨床栄養学の位置づけを理解できる。
3. 経腸栄養管理と静脈栄養管理の違いを説明できる。
4. 生活習慣病における食事療法の意義を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	臨床栄養の概念、摂食嚥下に関する基礎知識	講義	永井 徹
2	栄養ケアプロセス	講義	永井 徹
3	栄養スクリーニングとアセスメント（臨床診査および臨床検査）	講義	永井 徹
4	栄養スクリーニングとアセスメント（身体計測）	講義	永井 徹
5	食事療法と栄養補給法（経口栄養補給法）	講義	永井 徹
6	食事療法と栄養補給法（経腸栄養補給法、経静脈栄養補給法）	講義	永井 徹
7	薬と栄養・食物の相互作用	講義	永井 徹
8	栄養ケアプロセスにおける栄養介入の記録、モニタリング	講義	永井 徹
9	栄養障害	講義	永井 徹
10	代謝・内分泌疾患（肥満、メタボリックシンドローム）	講義	永井 徹
11	代謝・内分泌疾患（1型糖尿病）	講義	永井 徹
12	代謝・内分泌疾患（2型糖尿病）	講義	永井 徹
13	代謝・内分泌疾患（脂質異常症）	講義	永井 徹
14	代謝・内分泌疾患（高尿酸血症・痛風、その他の内分泌疾患）	講義	永井 徹
15	まとめ	講義	永井 徹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	カレント臨床栄養学	明渡陽子、長谷川輝美、山崎大治 他	建帛社	2015年	3,800円+税	
参考書	改訂第5版病態栄養ガイドブック	日本病態栄養学会編	メディカルレビュー社	2016年	3,800円+税	
その他の資料	糖尿病治療ガイド2015～2016	日本糖尿病学会編 他	文光堂		700円+税	
	高血圧治療ガイドライン2014	高血圧学会ガイドライン作成委員会	日本高血圧学会	2014年	2,200円+税	

	脂質異常症治療ガイド2013	日本動脈硬化学会	日本動脈硬化学会	2013 年	1,000円+ 税	
--	----------------	----------	----------	-----------	--------------	--

評価方法

期末試験による評価

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

研究室 : F206
toru-nagai@nuhw.ac.jp

授業などの質問等は、上記アドレスまで、ご連絡下さい。